様式３

会　　議　　録

<table>
<tr><td colspan="2">会議名
（審議会等名）</td><td colspan="3">さがみはら森林ビジョン審議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">事務局
（担当課）</td><td colspan="3">森林政策課　電話０４２-７８０-１４０１（直通）</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催日時</td><td colspan="3">令和７年１２月１日（月）　１４時～１６時</td></tr>
<tr><td colspan="2">開催場所</td><td colspan="3">津久井総合事務所３階　第１会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出席者</td><td>委　員</td><td colspan="3">６人（別紙のとおり）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>事務局</td><td colspan="3">７人（森林政策課長　他６人）</td></tr>
<tr><td colspan="2">公開の可否</td><td>■可　□不可　□一部不可</td><td>傍聴者数</td><td>０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">公開不可・一部不可の場合は、その理由</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">議　題</td><td colspan="3">１　開会
２　議事
（１）令和６年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について
３　その他
４　閉会</td></tr>
</table>

審　議　経　過

主な内容は次のとおり。

１　開会

事務局（森林政策課）で開会し、森林政策課長挨拶の後、次第に従い、会長が議事を進行した。

会議定足数及び傍聴者の有無について確認がされ、委員全員の出席と傍聴者はいない旨、事務局から報告した。

２　議事

（１）令和６年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について

事務局から、さがみはら森林ビジョン実施計画評価結果一覧表に基づき、審議会からの評価及び意見（案）について説明を行った後、質疑応答及び審議を行った。

○重点事項その１、その２に係る審議会からの主な意見、質疑応答

【事業コード 1-2-1　さがみはら森林ビジョン普及・啓発事業（№１）】

（石原委員）アンケートについて、実施した事業の効果測定ができるような項目や、市民の森林に対する意識の変化の度合を見るための項目等を工夫すると、さらによいアンケートになると思う。

（松本会長）実績が目標値を上回っているので、評価は「Ａ」としたい。

＜異論なし＞

【事業コード 3-1-1　「相模原市市民の森」整備事業（№２）】

（松本会長）本来目標としていることができていないという事務局の考えも理解できるが、実際は目標を上回る実績があるのに「Ｂ」とするのは、市民からも疑問を持たれてしまうので、評価は審議会で議論した通り、「Ａ」としたい。

＜異論なし＞

【事業コード 3-3-1　企業の森の整備（№３）】

（石原委員）相模原市の企業の森の特色についてはどのように考えているのか。

（事務局）本市は後発のため、他市では実施していないような分野を取り込むことを検討している。

（石原委員）企業が気軽に参加しやすくするために、例えば寄付のみの方法など、様々な参画の形を検討していただきたい。

（杉本委員）活動内容について、例えば、市の林道の草刈り等に協力してもらうのもよいのではないか。林道ならば、平らであり比較的活動はしやすい。

（松本会長）企業の森の整備は長年の課題となっているので、来年度以降の進展を期待しているが、

評価は「C」としたい。

＜異論なし＞

【事業コード 4-1-1　さがみはら津久井産材素材生産量の拡大（№.４）】

（松本会長）素材生産事業者と製材事業者等が需給情報を共有する仕組みがきちんと機能していると思う。仕組みを継続しブラッシュアップしていただくことで、生産量の更なる拡大につながるとよい。累計の素材生産量は目標値を上回っているので、評価は「A」としたい。

＜異論なし＞

【事業コード 4-1-3　地産地消の促進（№.５）】

（松本会長）産地証明の発行件数と取扱量は目標をやや下回っている。そもそも、相模原市民はさがみはら津久井産材をどの程度認知しているか把握しているか。

（事務局）市内のイベントでのアンケート項目には認知度に関する質問も設定しているが、認知度は半分を超える程度である。天板交換事業等の実施により、小学生等の若年層にも認知をしていただいていると考えている。

（松本会長）一次産業について、農産物と水産物は口に入る食べ物なので、消費者は真剣に考えるが、木材は、関係事業者には良さを分かってもらえるが、消費者にはあまり関係がないとして、理解してもらうのが難しい。市の広報番組の活用だけでなく、森林をアピールする動画を独自で製作するなど、積極的に普及啓発を行ってほしい。評価としては「B」としたい。

＜異論なし＞

【事業コード 5-1-1　市有林整備事業（№.６）】

（松本会長）昨年度から評価方法を変更し、累計値は届いていないが単年度の実績が目標値を上回っているため良しとなった。現地発生材は土止めや山止め等に使うことができるので、活用していただきたい。単年度の目標が上回っているということで、評価は「A」としたい。

＜異論なし＞

【事業コード 5-1-1　私有林整備事業（№.７）】

（松本会長）県の事業に係る情報は何かあるか。

（事務局）協力協約については、今締結している契約は継続されるが、新規契約は難しいと伺っている。ただ、今締結している契約もかなりの本数はあるので、施業年数としてはまだ７～１０年間程度あると思う。

（松本会長）現在契約している箇所を確実に実施するということか。累計値は目標を上回っているため、評価は「A」としたい。

＜異論なし＞

【事業コード 2-3-1　津久井産天板等交換事業（№.８）】
（淵上委員）次年度以降どのような形でやっていくか、教育委員会と協議をしたいと考えている。
（松本会長）有意義な取組なので、研究対象としてアンケート調査を実施したい。天板を交換した全ての小学校や教育委員会にも協力をお願いするなどして、連携して実施したい。

【事業コード 4-1-1　さがみはら津久井産材利用拡大協議会の運営支援（№.９）】
【事業コード 4-1-1　公共建築物等への利用促進（№.１０）】
（松本会長）需給情報をリアルタイムで確認できるようなシステムがあるとよいと思ったが、逆に、個別にやりとりした方がよいということもあるのか。
（杉本委員）今後の話になるが、県内で皆伐が進んでいくことによって、現在よりも多くの木材をやり取りすることになると思うので、その時は情報を常に発信しておく必要がある。先を見据えて準備しておいた方がよいと思う。
（松本会長）皆伐再造林はトレンドになっていて、当然、公共建築物は木材の大事な行き先になってくる。森林政策課だけではなく市全体で、学校や市役所等の建て替えを積極的に考えていただき、また、何かあった時のためにも、ある程度の木材を行政でストックしておくことはできると思うので、その仕組みについても考えられるとよいと思う。

【事業コード 4-1-4　木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進（№.１１）】
（淵上委員）広葉樹の活用を始めたのは１０年以上前になるが、今は広葉樹がすごく見直されてきていているので、よかったと思う。現在は、天板を製作した際に出る端材を活用してテーブルや椅子を製作するなど、積極的に活用している。

【事業コード 4-2-3　施業集約化支援事業（№.１２）】
（松本会長）集約化については、№.７の私有林整備事業は契約済のところを確実に整備していくということで、この事業ではそれ以外のところを整備するというすみ分けになるのか。
（事務局）県の水源協定林整備事業である。契約期間終了後に、集約化という次のステップに進んでいくということだと思う。所有者自身で管理することが原則になるが、自分で管理するのはなかなか難しい中では、集約化が一つの手段になる。森林経営計画の策定率は全国的にかなり低いので、その部分を強化していく形になる。

【事業コード 5-1-1　里地里山等の整備事業（№.１３）】
（松本会長）企業の森の整備等と関連させて進められるとよいのではないか。興味を持ってくれている企業を何社か連れていって、活動内容は先ほどの草刈りでもよいので、作業をする過程において森林に関連した話もする。作業だけではなく学んでもらう機会を作ることで、企業に目を向けても

らえるようになり、里地里山等の整備事業にも弾みがつくのではないか。

○「重点事項以外の取組」に係る審議会からの意見、質疑応答等

【事業コード 3-1-2　緑地保全用地の購入事業（№２２）】

（松本会長）この事業では、鉄道の沿線や主要地方道周辺の緑地を購入しているのか。

（事務局）相続の関係で買い入れの申し出があるとは伺っている。都市緑地法に基づく買い入れの申し出により、土地を購入している。

（松本会長）森林の買い入れの申し出はあるのか。

（事務局）通常の寄付の話はたまにある。市の管財課が一括で受けて、各課に照会がある。

（松本会長）森林の地籍測量はどのくらい進んでいるのか。

（事務局）城山地区で一部実施したという話は伺っているが、その他は特に進んでいないと思う。

【事業コード 4-2-2　林道等路網整備推進事業（№３１）】

（松本会長）市営林道は４１路線あるということだが、林道の整備計画はどのような状況なのか。

（事務局）現在は、令和元年東日本台風で被災した林道の復旧が中心になっているので、新たに開設に向けて整備している箇所はない。

（増田委員）タウンニュースに、大野台小学校の６年生が木もれびの森で下刈りを行った記事と、つちざわの森においてＳＣ相模原の選手がイベントを行った記事の掲載があり、読んだ。このような活動が周辺の小学校にも広がっていくとよいと思う。

（淵上委員）このように、活動の情報を発信することと、また、きちんとニュースにしてもらうことは大事である。

４　その他

事務局から議事録の作成及び次回審議会の開催時期について説明を行った。

５　閉　会

以　上

さがみはら森林ビジョン審議会　出席者名簿

（５０音順）

	氏　名	所　属　等	備　考	出欠席
1	石原　朗	公益社団法人　相模原市観光協会 専務理事		出席
2	杉本　貴広	有限会社　杉本林業　取締役		出席
3	淵上　美紀子	一般社団法人 さがみ湖　森・モノづくり研究所 代表理事		出席
4	増田　和美	公募委員		出席
5	松本　武	国立大学法人　東京農工大学大学院 農学研究院　准教授	会　長	出席
6	山﨑　和彦	さがみはら津久井森林組合 代表理事組合長	副会長	出席